

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

ノミの法則

明けましておめでとうございます。皆さんも心新たに新年を迎えたことと思います。

2021年の干支は「丑年」で、動物でいうと牛に当たります。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「耐える」「これから発展する前触れ（芽が出る）」といった年になるといわれています。

十二支の2番目で芽吹きを迎えようとする丑年。昨年は新型コロナウイルスのパンデミックによって世界中が多くの人々の困難に見舞われました。今年は**牛歩のごとく一歩ずつ力強く**進み、皆でコロナを克服して希望に満ちた年になることを願いましょう。

※干支は、正確には「十干」と「十二支」を組み合わせたものを指し、今年は「辛丑（かのと・うし）」となります。

年が明けても、コロナの第3波は治まることを知らず、一昨日首都圏1都3県に緊急事態宣言が発出されました。全国に感染が拡大しており、大阪府も予断を許さない状況で、緊急事態宣言を要請する方向です。このような状況下では、**一人一人の意識の持ち方**が問われます。これまで繰り返し言ってきましたが、皆さんにできることは、各自が「**感染しない、感染させない**」をモットーに、引き続き、**三密を避ける、換気をする、食事中などマスクなしでの会話をなくす**等の感染防止対策を徹底することです。特に、6年生は1週間後に大学入学共通テストがあり、その後も入試が続きます。万全な体制で臨めるように心掛けてください。

年頭に当たり、今日は「ノミの法則」という話を紹介します。犬や猫に寄生するノミを皆さんは知っていると思いますが、ノミのジャンプはすごいものがあります。ノミの体長は1mm以下のものから、大きくても9mmぐらいと非常に小さな虫です。翅（はね）は無いのですが、後ろ足がとても発達しているので、その体長の実に150倍もジャンプができるといわれています。これは人間なら、30階建てのビルを飛び越えることになります。

ここに、跳躍力の優れたノミがいます。そのノミをガラスコップに入れて透明の蓋をかぶせまします。するとノミは、コップから逃げ出そうとして何度も飛び上がり、透明の蓋にぶつかります。そしてしばらくすると、透明の蓋ギリギリのところまでしか飛ばなくなってしまうそうです。そのノミをコップから出しても、コップの高さよりも高く飛ぶことができなくなってしまう。

では、もう一度以前の高さまで飛ばせるためには、どうすればいいのでしょうか。それは、同じように飛べるノミと一緒にすることだそうです。飛んでいる仲間を見せてやることによって、自分の姿を取り戻し、やがて飛べるようになるのです。

皆さんも同じような経験はないでしょうか。自分には無理だと思い込んで「**自分で限界を決めてしまっている**」ということはありませんか。何かに取り組む前から、「自分にはできない。難しい。」と決めつけ、やるべきことに向き合おうとしない、逃げてしまうということです。

皆さんの周りにはコップも蓋もありません。勝手に自分で壁をつくってしまうと高く飛べなくなってしまう。このようなコロナ禍のなか、なかなか活動的にはなれないかも知れませんが、**自分の能力に蓋をしまわれない**ように、こんな時だからこそ、あきらめずに努力する心を持ち続けることで大きく飛躍してくれることを願っています。